


分野	52	水資源
施策	523	下水の適正処理
<b>5年後の目標</b>	下水道施設・設備の更新が着実に進み、下水の適正な処理によって、公共用水域の水質が保全されている。	

概要					
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目	決算額(円)	担当課	
	<b>下水道(汚水)の築造事業</b>	会計   款   項   目	—	—	下水道施設課
		公営企業会計			
事業の概要					
安全で快適な生活環境を提供するため、下水道整備計画区域内の全ての市民が下水道を利用できるよう未普及地区での整備を進めます。					


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	下水道整備率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	99.7	99.9	99.9	100.0	100.0
	99.7(平成26年度)	実績	99.7	99.8			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未普及地区(奥海印寺鈴谷)において、公共下水道の整備工事を行いました。</li> <li>・未普及地区(奥海印寺鈴谷)における私道部の整備について、地権者と布設承諾に伴う調整を行いました。</li> </ul>					管布設状況 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未普及地区(奥海印寺鈴谷)の市道部において、公共下水道の整備工事を行い下水道整備率が99.8%となりました。</li> <li>・未普及地区(奥海印寺鈴谷)における私道部整備のため、地権者の把握、調整を進めました。</li> </ul>	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未普及地区における私道部の整備について、地元住民及び私道地権者等との調整を行っていく必要があります。</li> </ul>			—

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備工事が完了した箇所から、供用開始のため桂川右岸流域下水道へ流入申請を行います。</li> <li>・未普及地区(奥海印寺鈴谷)における私道部の整備について、地権者との調整を行います。</li> <li>・平成30年度は未普及地区(奥海印寺鈴谷)の府道部について整備工事を進めていきます。</li> </ul>

分野	52	水資源
施策	523	下水の適正処理
<b>5年後の目標</b>		下水道施設・設備の更新が着実に進み、下水の適正な処理によって、公共用水域の水質が保全されている。

概要				
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目	決算額(円)	担当課
	<b>下水道長寿命化事業</b>	会計   款   項   目	—	下水道施設課
		公営企業会計		
事業の概要				
公共下水道施設の老朽化に伴う道路陥没等により、人身事故や交通障害を招かないよう第1期長寿命化計画(平成26～30年度)に基づき、改築・修繕を進めます。また、平成29年度に次期長寿命化計画(平成31～35年度)を策定します。				

平成29年度の取組								
D (取組)	指標	下水道管きよ更新事業の進捗					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	第1期長寿命化計画に基づく、改修工事、修繕の実施(平成27年度)	目標	第1期長寿命化計画に基づく、改修工事、修繕の実施 次期長寿命化計画の策定に向けた管きよ調査の実施	第1期長寿命化計画に基づく、改修工事、修繕の実施 次期長寿命化計画の策定及び管きよ調査の実施	第1期長寿命化計画に基づく、改修工事、修繕の実施 次期長寿命化計画に基づく改築・修繕の詳細設計	※平成29年度策定の次期長寿命化計画に基づく指標設定		
実績		幹線管渠とマンホールの更生工事及び管渠調査を実施	幹線管渠とマンホールの更生工事及び管渠調査を実施					
・神足3丁目他地内の幹線管きよ及びマンホール調査を実施後、更生工事を行いました。					更生工事実施状況			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・老朽化した下水道施設の更生及び修繕を行い長寿命化を達成しました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>年数の経過と共に老朽化が進むことから、定期的かつ予防保全的な点検が必要です。</li> <li>損壊事故等を未然に防止するための予防保全的な観点に立った下水道施設全体の維持管理・更新計画であるストックマネジメント計画を策定する必要があります。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		・次期長寿命化計画については、国の施策の変更に伴って、ストックマネジメント計画として平成30年度に策定します。今後は、その計画に基づいた効率的な下水道施設管理を行います。